

よいた

昭和47年11月10日 ■発行／与板町（代表者与板町長川上文平） ■編集 与板町だより編集委員会



芸術の秋!! 与中祭の作品制作中 (秋晴れの与板橋附近にて)

11月は秋から冬への衣替えの月です。まだあたりの様子は秋の気配がいっぱいなのに、日ざしの弱さ、日の暮れの早さ、朝夕の手足の冷たさ…など、そろそろ冬の近づいたことを思わせます。冬というのは立冬（7日）から来年の立春（2月4日）の前日までのことで、上旬はまだそう寒くなく、日中は天気も定まって静かな日和が続き、お休みの日にはどこかへ出掛けるのによい季節です。

からつと晴れた日には、できるだけ寝具を外へ出して干すようにしたいものです。さらつと、まだ日のぬくもりの残つているような寝具の快適さは、季節のありがたさで、お金ではとても買えません。

一 人 口 の 動 き

10月31日現在

() は 9月末との比較	
人 口	7,954人 (- 1人)
男	3,851人 (+ 4人)
女	4,103人 (- 5人)
世 帯	1,802 (- 1)

出生 9人 死亡 4人
転入 13人 転出 19人

昭和四十六年度決算公表	昭和四十六年度決算公表
一般会計決算	2・3
国保会計決算	4
上水道会計決算	4
でんでんコナー	3
ごくろうさん	5
最優秀賞に	5
町民の声	6
商業調査の結果	6
ポストコーナー	7
天気長期予報	7
おしらせ	8
保健衛生だより	8

おもな内容は

よいた町だより 47. 11. 10 発行

保健衛生

11月15日(水) 乳児検診	13時30分から15時 母子センター
11月21日(火) 種 痘	13時30分から15時 母子センター
対象者	第1期 S.45.10. 1から S.46.5.31出生児
	第2期 S.41. 4. 2から S.42.4.1出生児
11月28日(火) 種痘判定	13時30分から15時 母子センター
対象者	21日(火) 種痘接種した者
12月 6 日(水) 妊婦検診	母子センター 13時から14時30分
母親学級	14時30分から16時
12月 7 日(木) 生ボリオ投与	13時30分から15時 母子センター
対象者	第1回目 S.47. 1. 1～ S.47. 5.31出生児
	第2回目 S.46. 6. 1～ S.46.12.31出生児
12月14日(木)	13時30分から15時
ジフテリア・トキソイド	母子センター
対象者	S.41. 4. 2～42. 4. 13出生児

すでに公報紙、回覧板、チラシ、予防検査時等により毎年数回となく皆さんにお知らせしてまいりましたが、お忘れになつた方もおいでのことと存じますのであらためてお知らせいたします。

(消防法第十条、与板町火災
予防条例第三〇条による)

ワイル氏病ならびにツツガ
病等の未然防止と田畠なら
里

金均等月賦償還
申込期日……昭和四十七年
十二月十五日

日時
十一月二十八日
午後一時三十分
会場
与板町公民館

北越銀行
新潟相互銀行

町だより「よいた」に

「危険物（油類）の適正貯蔵 数量について」

る場合には法で定められた施設を特にしなければなりません。時節柄火を使う機会が多くなつてまいりました。危険物はその発火源、あるいは拡大火災の媒体としてその名のとおり非常に危険な物品です。どなたにも危険物の貯蔵取扱いにはくれぐれも御注意下さい。

○駆除運動をいたしましたよ。
勤労者住宅資金
貸付限度額を一〇〇万円に
県では、現在勤労者住宅資
金の貸付けを次によつて行な
っています。
○貸付対象者
自分で住むための住宅を新
築・増改築・購入しようと

申込期日……昭和四十七年
十二月十五日

金均等月賦償還

申込取扱金融機関

北越銀行

新潟相互銀行

その他……住宅金融公庫

融資の併用もできます

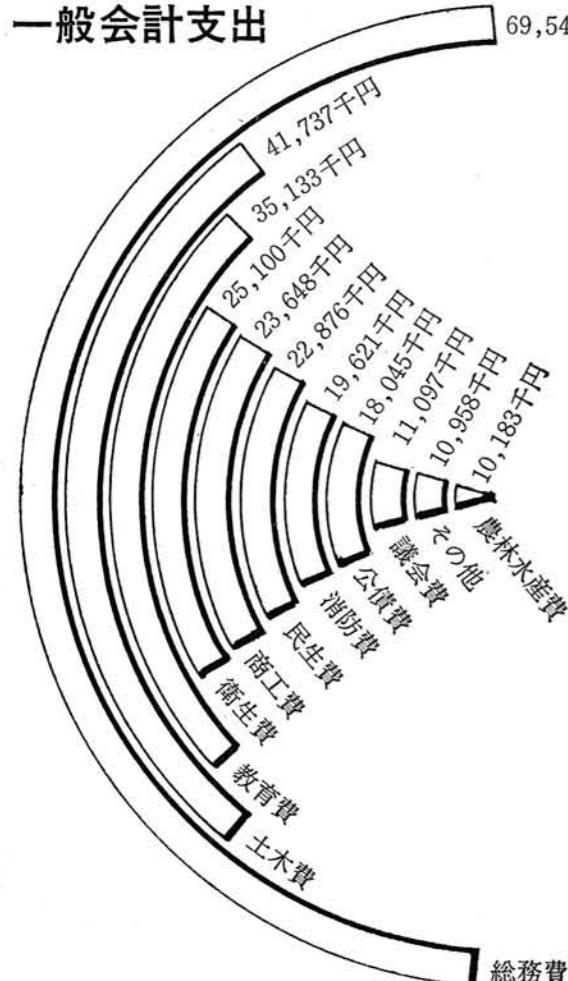
昭和四十七年分年末調整事務説明会開催について

本年も源泉所得税の年末調整の実施時期が次の日程で開かれます。事業所には別途案内も出ますが年々税法も改正されておりますので是非御出

町だよりによいたには

よいた町だより 47. 11. 10 発行 -----

一般会計支出



1,644万2千円
町民の皆さんのお協

支出総額
二億八千七九三万円
町民一人当り
三万六千円の支出

支出の総額は、二億八千七九三万円で、町民一人当り三万六千円となります。支出の増加の原因は、議会費が主な要因です。議会費は私達の代表として審議、議決の面を受けもつて、議会費は一千一百九十九万七千円で、全体の三・九%であります。

内容を簡単に説明します。

民 生 費 一千二百八 十七万六千円	総務費 六千九百五 十四万二千円	会の運営費、議員報酬、調査研究のための旅費、議会職員の給与等が主なものです。
民生費は社会福祉、老人福祉事業費、保育児童の措置費で七・九%であります。	総務費は役場全体の運営費であり、役場職員の給与、役場の仕事を円滑に進めていく上のいろいろな経費、町財産管理の費用、税金、戸籍、選挙、交通安全及び町だより等の事務を行なつていくために使われた費用であります。	会の運営費、議員報酬、調査研究のための旅費、議会職員の給与等が主なもので二十四・一%であります。

保育所の管理及び運営費、児童遊園地の設置費、及び国民年金事務に要した費用です。

排水路の工事費、測溝の工事費また県道整備の負担金、都市計画街路事業の負担金が主なものです。前年度より約九百万円の増となりました。

消 防 費 一千九百六
十二万一千円
で六・八%であります。

常備、非常備消防費、防火水槽の設置、消火栓新設移設工事費が主なもので、分室脇に灯油貯蔵庫を新設しました。

(電信電話債券の話)

電話をひいたとき、親子
電話を取り付けたとき等に
引受けられた電電債を、お
持ちいただくのは結構のこ
とですが、つぎのことを知
つておかれると便利です。
引受けられた年から数
えて三年目から、毎年三月
二十五日に、「抽せんまた
は、買上げ償還がある」と
と。
二・ 抽せんまたは、買上げ
等で償還になる債券にはこ



状況を公表します

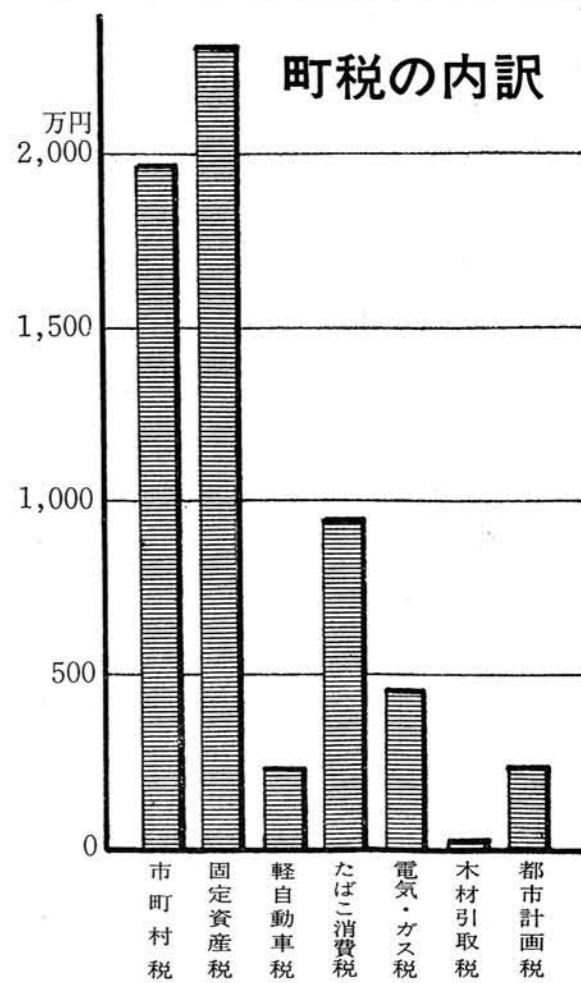
収入総額 三億四三八万円 収入の五三・三%が 地方交付税

し、町民税の法人所得割については、経済の変動に伴つて減となつており、個人所得割においては三百七十五万六千円の自然増を示しており、固定資産税においては三百七十八万八千円の増になつたことが主因であります。

また、タバコ消費税は九百四十万円を超えており町の大きな財源となつております。特定財源の国庫支出金の収入額は一千三十四万四千円であり、その大半は児童措置費であります。昭和四十七年二月より適用された児童手当補助金が四十四万円含まれております。

この他、諸収入、県支出金等については前年度に比して特記すべき事項がありません。

收入



三日は「文化の日」
☆☆☆☆☆
文化つて？……ナーニ？
ナベかな？ カマか？
新式？ 便利？
ハイカラ……？
☆☆☆☆☆
ひところはやつたネー
このごろは
「デラツクス」かな
☆☆☆☆☆
本来の「文化」を
とりもどそう一
☆☆☆☆☆
おやすみ……?
文化祭・展覧会・発表会
国民の祝日||

国保会計

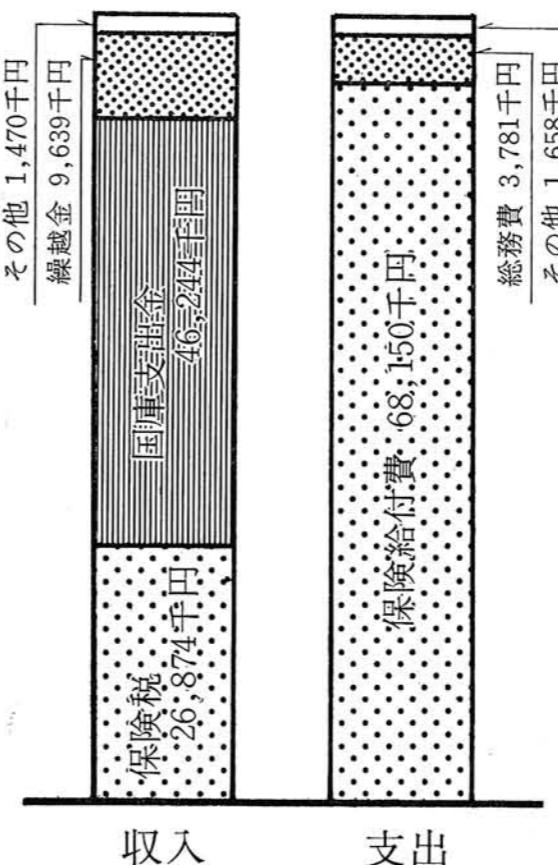
一 人 当り 税 負 担 額
五、六四七円

昭和四十六年度の国民健康保険特別会計の当初予算は、七千三百四十三万五千円で発足しましたが、その後八百六十八万六千円の増額補正を行ない最終予算は八千二百十二万一千円となりました。歳入総額は八千四百二十二千円と出し、七千三百五十八万九千円となりました。

歳出においては、予算額に對し、不用額八百五十三万二千円と出し、六十三万八千円と今年度黒字十三万八千円が黒字となりました。その内訳は累積黒字額九百額百万円であります。

不用額となつた主なものは保険給付費の七百八十三万四千円であり、これは、年度内における受診率が当初見込額より低下したことによるもの

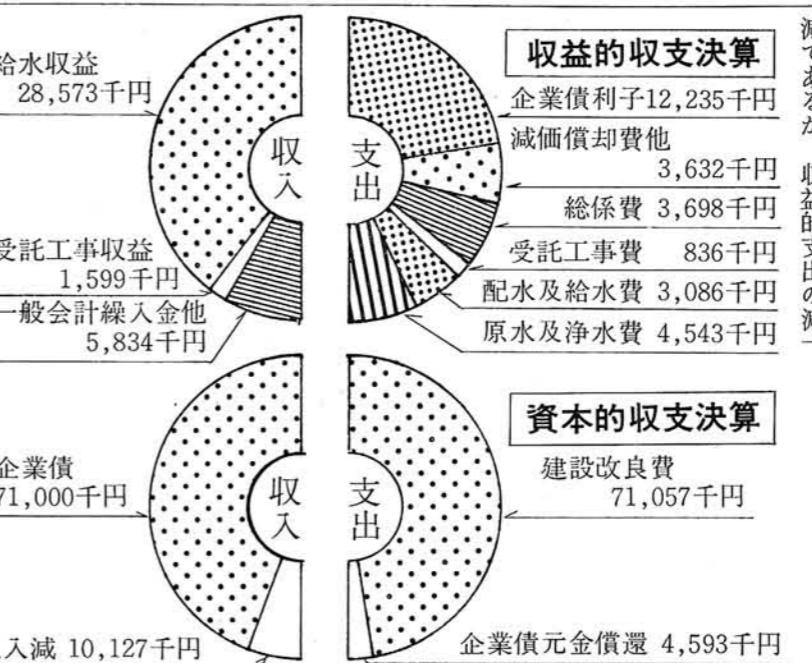
国保会計の収入と支出



上水道会計決算

昭和四十四年度から三ヶ年計画で実施した第四次拡張工事の終了年度で、工事も完了し和島村にも給水を開始いたしました。資本的収支においては、一〇、一二七千円の収入は、一〇、一二七千円の収入減であるが、収益的支出の減

計画で実施した第四次拡張工事の終了年度で、工事も完了し和島村にも給水を開始いたしました。資本的収支においては、一〇、一二七千円の収入は、一〇、一二七千円の収入減であるが、収益的支出の減



秋の交通安全運動事業の1つとして、交通安全標語を募集しておりますが多数の応募者の中から選出の結果次の

くりかえし、前見て横見て、うしろみて

第1位に横町の五十嵐昭一さん 交通安全標語募集の入賞者

秋の交通安全運動事業の1つとして、交通安全標語を募集しておりますが多数の応募者の中から選出の結果次の人が入選されましたのでお知らせします。御協力に厚く御礼申し上げます。

第1位 横町 五十嵐昭一 くりかえし 前見て横見て うしろみて	第3位 蔵小路 岩本均 じづくり まつて さつさと横断
第2位 本与板 源川秀教 気をつける 人に事故なし	第3位 高野正史 車に注意

けがはなし
他に佳作4点を共に表彰いたしました。

スポーツの秋!! 盛会

バスケットボール大会

11月 19日(日)

会場 中学校体育館
時間 午前8時30分より

町長杯野球大会・成績

10月15日 中学・高校グランド

- 1位 中学校職員チーム
- 2位 田辺砂利チーム
- 3位 与板土木(B)チーム
- 3位 山田自動車チーム
- 参加チーム……8チーム

バレーボール大会・成績

10月22日 中学校体育馆

- 1位 稲荷町チーム
- 2位 堤下チーム
- 3位 良い子チーム
- 3位 蔵小路チーム
- 参加チーム……13チーム



ポストコーナー

年末は小包ラッシュ早めに差し出を
例年11月中旬から年末にかけて贈答用小包
を中心大量の小包が差し出されます。信越
管内で、昨年12月中に差し出された小包は、
102万個で、これはふだんの月の約2倍にも
なります。郵便局では、これに備え、臨時の
局舎や運送便などをふやしておりますが、年
末おせまつてから差し出されますと、輸送
力をオーバーするため、配達に日数がかかり
ます。そこで小包をより早くお届けするため
に、次の点にご協力をお願いします。

12月15日ごろまでに

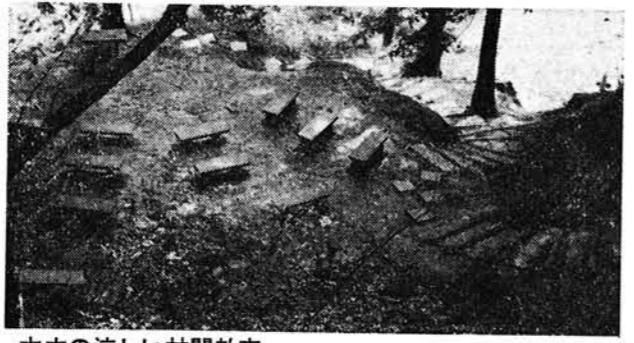
小包はおそらく12月15日ごろまでに差し
出してください。15日過ぎになりますと、年
賀郵便と重なるため、年内配達がむずかしく
なります。

荷造りにご注意

大量の小包の中には、つつみが破れてあて
先がわからなくなったり、中身がとび出したりするものがあります。鮭など水分を含んだものは、他の郵便物をよごすおそれがあります。ピニールの袋に入れるなどして特に念入りにつつんでください。

住所あて名は見やすく大きく

住所やあて名は、見やすく大きく書いて寮
やアパート、室番号などの肩書きも正確に記
入してください。



"タイムトンネル44" の風景

まだ、雪の積るほどの季節
ではあります。立冬から十五日目に当たる「小雪」(二十二日)ともなれば、そろそろ寒さを感じるようになります。間もなく本格的な冬の到来ということがあります。またこの冬の降雪量が心配になりますが、新潟地方気象台では十一月から一月までの長期予報を発表しました。これによると、晚秋の天候は比較的温暖な晴天が目立ち、十一月末には大陸の高気圧がかなり発達し、十二月半ばごろにかけて強い寒波の吹き出しがあるでしょう。しかし冬の訪れは早く、また、里雪型の気圧配置も現われて年内に平野部でも大雪の降るおそれがあると呼びかけています。

十一月の予報
移動性高気圧におおわれて
月の初めと終わり頃には寒波
の吹き出しがあるでしょう。
平均気温は並みないしやや
高く、降水量は並みで月末の
寒波で初雪となるところが多い
ことをあります。

十一月の予報
冬型の気圧配置は長続きせず天気は周期的に変わり、月を通じて寒さはしのぎやすくなります。平均気温は並みかやや多く、降水量はやや少ないです。また、日照は並みかやや多く、降水量はやや多いです。

里雪型、平野部で大雪か
今冬の長期予報を新潟地方
気象台が発表されました。

おことわり

△与板の歴史をたずねて△は、都合により、
休ませていただきます。

秋季火災予防週間

11月 26日～12月 2日

～慣れた火に新たな注意～

くらしの中の防火再点検

人まかせでなく1人1人が、火の元の安全を確めるよう習慣づけることが大切です。

1. たばこの投げ捨てと寝たばこの防止。
2. 火器使用場所の整理安全点検。
3. 暖房器具の正しい使い方の励行。
4. 子供の火気あついの防止。

「しつもん」「小学校が、新しく建設される事は、私達の後輩が今まで以上に設備の整つた学校で学習が出来るということで、先輩として大変うれしいです。

しかし、私達が四年生から六年生の時まで、小学生ながら力いっぱい土を運び、石段を組み、地ならしをした、あの自然の中の私達の皆たつた「清風園」は、小学校が東与板に移転した後は、どうなるのでしょうか。

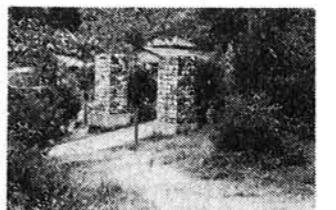
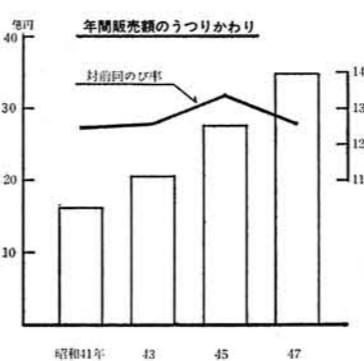
私達の卒業記念の「タイムトンネル四十四」も、先輩の記念が沢山あります。

中三・Y.O.



「おこたえ」
自然の中のみんなの皆である「清風園」は今日も小学生の良い野外活動の場であり、日曜日は大人の良い憩いの場所です。

レンガ造りの正門、タイムトンネル四十四から見る白い長いスベリ台、変化に富んだ山みち、きれいな言葉の石碑など、いつまでも、町民の憩いの場所として、管理し、多

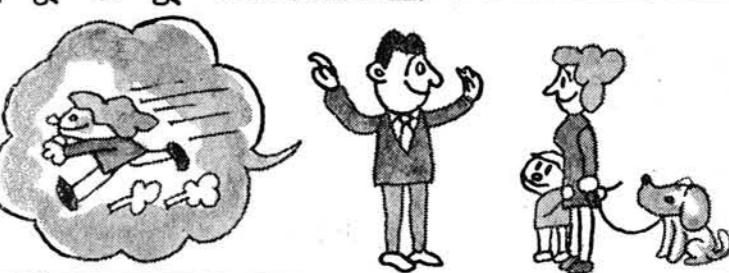
商業調査の結果
一、三七〇万円

年次別	商店数(店)	従業者数(人)	年間販売額	
			実数(万円)	対前回比(%)
昭和41年	275	773	164,055	124.7
43	265	755	206,201	125.7
45	259	776	275,815	133.8
47	254	808	347,602	126.0

ぼく青になるまでまつよ（交通安全教室）

危険な3～4歳児

年齢別にみた子ども（歩行中）の死傷者は、3歳をピークとして、その前後に集中しており、幼児への保護者、とくにおかあさんの注意がいかに大切であるかを物語つけております。



去る五月一日に実施いたしました調査の結果がまとまりましたので、その概要を報告します。まず販売額をみると、四十五年調査時より七億二千万円（二十六%）増加、この額を四十一年に比較してみますと、のび率で二・一倍になります。（参考までに県平均では一千三百七十万円、従業者一人当たり四百三十万円になります。）

商店数では大きな変化はみられませんが、年々少しづつ減っています。

次に業種別の内訳をみてみますと、その他小売業が対前回比で二・三倍と非常なびのウエートを占めているものが減っています。

商店数では大きな変化はみられませんが、年々少しづつ減っています。

業の七千六六十万円の減となっています。ほんの一端ですが、

協力に対しお礼申しあげ、報告いたします。